

「三次市観光戦略（案）」に関するご意見とそれに対する三次市の考え方

令和3年9月30日

部署名：産業振興部商工観光課

「三次市観光戦略（案）」について、令和3年9月1日から9月21日まで三次市ホームページ等を通じてご意見を募集したところ、6通（延べ8件）のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見と、それらに対する三次市の考え方について、以下のとおり取りまとめましたので、ご報告します。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見のうち、パブリックコメントの対象となる事項についてのみ考え方を示させていただきます。

今回、ご意見をお寄せいただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

番号	ご意見の概要	件数	三次市の考え方
1	<p>霧の海や鵜飼は、夜間や早朝の観光であることから宿泊に課題がある。既存の旅館や民宿をリノベーションして、バックパッカーやサイクリスト、インバウンドの皆さんが安く宿泊できるところを増やしていただきたい。食事を市内の飲食店で楽しんでもいただく仕掛けをすれば、経済効果は高いと考える。</p>	1件	<p>本戦略では、観光客の滞在時間を延伸させ、宿泊を促すことや宿泊事業者と飲食事業者との連携強化が重要であると考えています。</p> <p>具体的な取組はDMOを中心に進めていくこととなりますが、個別の観光事業は、本戦略に定めるKPI（重要業績評価指標・中間目標）やKGI（重要目標達成指標・最終目標）に寄与するかどうか、事前の評価や事後の効果検証を行いながら実施の検討をしていきます。</p>
2	<p>取組の方向性として、三次市に隣接する地域と共通性やテーマ性の高いコンツで連携して、商品を造成するとある。</p> <p>また、観光インフラ整備では連携を進める自治体との連携強化を図り、民間事業者の連携を支援するとある。是非、観光インフラに、旧三江線鉄道資産を含めて、隣接する邑南町と広域周遊観光プロダクトの開発について協議・連携し民間事業者を支援していただきたい。</p>	1件	<p>観光に限らず新たなインフラの整備には、将来的な負担を検討したうえで、多くの市民の理解が必要です。</p> <p>また、「稼ぐ力の創出」という観点から、事業実施する観光事業者には、継続性や採算性が必要になると考えています。</p> <p>個別の観光事業は、DMOを中心に進めていくこととなりますが、本戦略に定めるKPIやKGIに寄与するかどうか、事前の評価や事後の検証を行いながら実施の検討をしていきます。広域周遊の観光プロダクトの開発では、隣接する市町とテーマ性を持った事業での連携を引き続き検討していきます。</p>

3	<p>三次市観光戦略（案）に記述・記載してある観光資源は造形的なものばかりで、自然の観光資源，県内外でも有名な「常清滝」とか「霧の海」などの関係記述・記載がみあたらない。環境保護と持続可能性を考慮する「エコツーリズム」が，これからの時代に合っている。</p>	1 件	<p>本戦略では，個別の観光資源の活用について特筆していませんが，本市にある観光資源には，自然資源を基本としたものが多数存在しています。</p> <p>個別の観光事業は，DMO を中心に進めていくこととなりますが，今後は，これらの資源を維持し活用していくためにも，観光事業者によるガイドツアーや体験ツアーなどの消費を促す仕組みを支援することで産業としての観光を推進していきます。</p>
4	<p>観光客数に不信感がある。諸々書かれているが，三次の資源など現状が理解されていないと感じる。特に正確な入込観光客数の把握とリピーターを増やす方法が何かを考えたか。</p>	1 件	<p>本市の観光客数は，県の統計調査のガイドラインに則したものです。今後もその手法を精査することで，さらに正確性を高めていきます。</p> <p>本戦略の P39 で示しているとおり，リピート率の向上のための取組の方向性として「観光プロダクトの磨き上げ」「観光プロダクトのパッケージ化」「広域観光コンテンツづくり」「プロモーションの強化」に取り組んでいきます。</p>

5	<p>現在三次市は通過点になっており、中途半端でどこにでもあるような物（所）しかない。全国でも観光で成功している所はほとんどなく、成功している所は行政ではなく民間の施設である。行政主導ではなく観光協会等とボランティアの強い意志がなければ成立しない。市民の理解と協力がなければ、何事も成功しない。基本的には、独立採算で初期投資以外は税金を投入しないということではないか。</p>	1 件	<p>本戦略の P31 では、オール三次観光推進プロジェクトの検証をしています。行政が中心となってプロジェクトを推進したことで、総観光客数を 347.5 万人まで増加させたことは一定の成果があったと言えますが、イベントの開催など市民の満足度を上げる取組が多く、市外からの来訪者に観光消費を促す「稼ぐ」という観点が不足していました。</p> <p>今後は、本戦略に基づき、観光事業者が産業として観光事業に取り組むことを DM0 が支援するという仕組みを構築します。観光事業を産業としてとらえることから、観光事業者は、自立した運営をめざすこととなります。</p>
6	<p>社内で検討した三次 PR 事業やお客様からの意見を集約しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客向け三次ブランドを作る ・三次もののけミュージアムにある機関車を旧三江線で走らせる。 ・三次町ウォーキング大会をして商店街で食事をして解散するイベントを実施する。 ・マラソン大会復活、みよし運動公園でのリレーマラソン、みよしスイーツマラソン大会を実施する。 ・三次周遊プラン、各地区のお店で買い物をすると特典を付け 	1 件	<p>個別の観光事業についてのご提案ですが、戦略策定後は DM0 を中心に観光振興を進めていくこととなります。本戦略に定める KPI や KGI に寄与するかどうか、事前の評価や事後の検証を行いながら実施の検討をしていきます。</p> <p>本戦略の P32 にある戦略の方向性では、満足度の向上、リピート率の向上、滞在時間の延伸につながる施策を実施することで、相乗効果として観光消費額の向上をめざしていくこととしています。</p> <p>また、観光推進体制についても本戦略の P47 で示しているとおり、機能的かつ効果的な事業推進のために新たな</p>

<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none">・三良坂の馬洗川沿いをサイクリングロードにする。・古民家を改装し現代風のホテルに改装する。・川沿いにキャンプ場やグランピング場を整備する。・登山者向けのコテージを整備する。・動物と触れ合える施設があるといい。・三次市中心部の観光施設は充実しているが、旧三次地区（周辺部）への取組に期待する。・最近流行のキャンプ場やグランピング場は県南にはあるが、北部に少ないため特色のある施設を作ることで、宿泊を伴う観光が実現できる。・広島の小京都と呼ばれている三次町の活性化、外国人観光客に人気のある物怪と宿場町ならではの商業施設やお土産を取りそろえることで集客を増やす。・それぞれの団体、組合が作成したパンフレットが多くあるが重なっているところがあり集約してもよいのではないか。・SNSでは人気があるスタンプラリーの企画、家族向けの企画などが季節ごとにあるといい。・三次町やアグリパーク等、三次市の観光戦略を一体に推進する組織体制を整備する。・三次市・庄原市・安芸高田市3市一体での県北観光戦略及び地	<p>観光推進組織の構築に努めていきます。</p>
---	---------------------------

	域おこしのための組織体制を整備するのがよい。		
7	三次もののけミュージアムが盛況となったのは、週刊誌のグラビアに多ページにわたり紹介されたことの効果であると考えられる。こうしたメディアを利用すれば全国的なピーアールができると思う。	1件	本戦略の P44 で効果的な告知方法や告知媒体の研究をすることとしています。 具体的なピーアール方法については、DMO で検討・実施していきます。
8	広島市は外国人観光客が増加しているが、三次市は停滞したままである。この原因究明と打開策について検討してみればよい。	1件	本戦略の P36 にマーケティングの強化に取り組むこととしています。 また、P40～P41 に記載していますように、訪日外国人の受入体制について、「観光プロダクトの開発」「着地整備の推進」「情報発信」に取り組みます。

〈連絡先〉

部署名：産業振興部商工観光課

住所：三次市十日市中二丁目8番1号

電話：0824-64-0066

ファックス：0824-64-0172

電子メール：kankou@city.miyoshi.hiroshima.jp